

三浦外洋セーリングクラブ理事会議事録

開催日：2019年9月10日（土）18:30～20:25

場 所：新橋駅前ホール II 東京都港区新橋 1-14-7 荒川ビル 2F

出席者：理 事：飯島、伊藤、尾山、北川、黒岩、小板橋、児玉、才藤、庄野、関根、外山、平松、
三輪

監 事：望月

顧 問：大谷

出席 理事 13 名、 監事 1 名、 顧問 1 名

欠席者：理 事：小川、坂口、新通、羽柴、星野

監 事：藤田

（敬称略）

議案審議に先立って停泊地の台風被害状況について各々から報告があった。

シーボニアマリーナ 販売中の 2 艇を除き軽微な被害

横浜ベイサイドマリーナ 100 艇以上かなりの被害

宮川フィッシャリーナ マストが折れた艇あり

三崎マリン 陸上置き艇に被害なし

油壺 漁船 1 艇沈没

湘南サニーサイドマリーナ 被害なし

小田急ヨットクラブ 被害甚大

館山 マスト折損 5 艇

ジブファーラー、メインファーラーが展開してしまう被害が多数あった。

庄野会長が議長となり、議事録作成人に北川理事、同署名人に小板橋理事を指名して、下記議案につき審議した。

< 審議事項 >

1. 総会資料の電子化及び総会招集通知のホームページ上への掲示に伴う会則変更の件
総会決議方法について下記のような省力化案が議論され、継続審議となった
 - ・レースの web エントリー方式で投票
 - ・会員宛はがきに個別の QR コードを入れて投票会則変更案は後日庄野会長から提示されることとなった。
2. パラオレースに係る確認書につき、外洋三崎に代わりパラオレース実行委員会と交わす件
議長より当クラブの 1 月理事会で承認された「確認書(案)」を 1 月に外洋三崎新田会長に提

示していたところ、7月上旬になってようやく外洋三崎理事会で審議され、否決されたこと。外洋三崎に代わってパラオレース実行委員会を相手方として書面を取り交わすことにつき、念のためリーガルチェックを受けたこと。

この間、OSR カテゴリーI レースとなり、共同主催者から外洋東京湾が離脱し、一方、外洋湘南が参加となったこと。現時点では当クラブが共同主催となる前提条件である書面の締結を満足していないので、共同主催にはならないこと。JSAF 本体が共同主催者に加わる方向で調整中である旨が説明された。

審議の中で、何か起きたときにJSAFが窓口でないのは対外的にもおかしい。きちんと窓口になってもらえないなら当クラブも受けるべきではない、との意見があった。

審議の結果、パラオレース実行委員会と「確認書」を締結することにつき、賛成11名、反対1名、棄権1名にて承認された。

反対意見として、外洋三崎、新田理事などともっと意思疎通して、当クラブは何をすればいいのかなど内容を決めてから決議するべきであると意見があった。

3. JSAF「ビジョン検討会」メンバー選出の件

JSAFの資料が配付され、総じてこれは一体何を目的とするのか不明と議論された。要は以前から話されているセーリング人口を増やしましょうというものを手を替え品を替え、また新たに提案されたものと思われる。内容は漠然としていて、賛成か反対かという決はとれない。庄野会長がとりあえず検討会に顔を出すこととした。

4. 共同主催依頼及び承認の件

ヨコヤマカップの共同主催依頼につき、承認された。

若大将カップの共同主催依頼につき、承認された。

5. 安全委員会特別予算に係る安全セミナー・ルール講習会の日程及び企画の件

児玉理事から「日本人医師によるヨット用ファーストエイド一日コース(年度内に実施可能)」または「火せん操作を消防署と共同実施(実施は来年度になる)」を企画していると報告された。

三輪理事から、来年新しいルールが出てくるので、ルール講習会を再来年1~2月に実施予定であると報告された。

6. JSAF 艇登録の再確認について

関根事務局長から、艇登録状況が混乱しているので、状況不明な艇やオーナーにつき再確認していく。その過程で会員数が減少するなどあるが、実態が明確になると報告された。

<報告事項>

1. 相模湾オープンレース レース報告

関根理事から、本年は7月第2週に57艇参加で開催された。成績算出でミスがあった。来年はオリンピック開催の関係で外来艇を受け入れられるのかなど未知であると報告された。

2. 石廊崎レース・トランスサガミレース レース報告

飯島理事から、石廊崎レースに38艇参加、フィニッシュは24艇であった。レース状況の詳細と、来年はもう少し手前にマークを打ち、多くの艇がフィニッシュしやすくする予定であると報告された。

トランスサガミヨットレースは44艇の参加で全艇がフィニッシュした。潮の流れにより大変速いペースであった。ロールコールを行わなかった5艇に3分のタイムペナルティーを付加した。SIにDPと記載していたが、一般的にはDPのパーセンテージはシリーズレースの得点に適用するものであり、今回のようなオフショアレースにおいては一定時間のタイムペナルティーをSPとして課する方も今後一考の要がある。

3. 9月28日全国外洋団体長・事務局長会議

庄野会長と関根理事が参加予定であると報告された。

4. 外洋特別規定 日本語完全翻訳版発表（児玉理事）

webに掲載されているOSRにカテゴリ0,1,2版がない。大事な内容が書かれている付則も掲載がない。内容は2020年に改訂されるので限定的な販売となるが、この度OSR翻訳版が製本され、安全委員会から2500円で発行されると報告された。

5. セーリングワールドカップ（江の島）報告とオリンピックに向けて

平松理事、児玉理事から、境港でレーザー、江ノ島で470の世界選手権とオリンピックのテストイベント、ワールドカップが行われた模様が報告された。

以上で本日の議事をすべて終了し、20時25分閉会した。

以 上

2019年 月 日

議事録署名人